



令和8年3月

ガーデン・ツーリズム登録制度

令和7年度 登録計画事業実施報告

【探訪部門】

恵庭ガーデンツーリズム協議会

花と暮らす恵庭の花めぐり

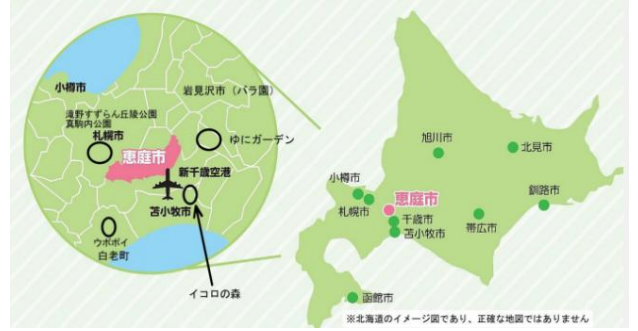
恵庭市概要 と 周遊コース

人 口
70,248人(令和6年4月現在)

面 積
294.65 km²
(国有林4.5%・演習林2.3%)

交 通
JR快速で、
札幌まで24分
新千歳空港まで13分

教育機関
大学2・専門学校2
(3,000人)
高校3・中学校5・小学校8
(約7,300人)



ガーデンツーリズム登録計画 **花と暮らす恵庭の花めぐり**
花が紡ぐ人々との出会い、恵庭ガーデンライフスタイル。(北海道恵庭市)

ストーリー・由来のビジョン

- 花が紡ぐガーデンと人々との出会い
- まち全体に花があふれ、庭先に、道に、公園に、そして空き地にも、花が咲く。まちを歩けば、その先で花に迎えられ、花が人々との出会いを紡ぐ。見応えある大型庭園やナーサリーの庭も魅力。そんな探訪型の花めぐりを目指します。

取り組み概要

- 取組主体：恵庭ガーデンツーリズム協議会
- 構成団体：恵み野花協、恵み野商店会、(株)アレフ(えこりん村銀河庭園)、(株)サンガーデン、一般社団法人恵庭観光協会、恵庭市経済部 花と緑・観光課、富士交通株式会社、ガーデンアイランド北海道
- 歩いてテクテクまち歩き
- 自転車でまちなかの花めぐり
- ハイヤーを使ってゆったり花めぐり
- 実施期間：6月～9月末

探訪部門

構成庭園

- ① はなふる (公共) 「道と川の駅」を備えた都市公園約10ha
- ② ガーデンギャラリー (民間) 恵み野のメインストリートの庭約700m
- ③ 恵み野アナベルロード (民間) 恵み野中央公園にある約600m
- ④ まちなかガーデン (民間) 市民が作る庭を外から見られる約245ha (恵み野の総面積)
- ⑤ 銀河庭園 (民間) えこりん村にある大型イギリス庭園約10ha
- ⑥ サンガーデン (民間) 北海道で最大の花苗生産の庭約1ha



様式1-5 構成庭園一覧表

- ① 花の拠点～はなふる
- ② 恵み野商店会(ガーデンギャラリー)
花さんぽストリート・
やすらぎストリート
- ③ 恵み野中央公園
アナベルロード
- ④ まちなかガーデン
- ⑤ えこりん村～銀河庭園 (2024年10月で閉園)
- ⑥ (株)サンガーデンナーサリーの庭



1, 実績報告ー第36回 恵庭花とくらし展 2

ガーデンフェスタ恵庭2025開催

オープニングセレモニー



みんなの花壇(当日来場者植え込みし完成)



キッズフラワーファッションショー



花の抽選会



作品展示



ワークショップ



Eえにわサポーターズクラブ



会場全体



1, 実績報告—第36回 恵庭花とくらし展 3

ガーデンフェスタ恵庭2025開催(含む【歩いてテクテクまち歩き】)

■「はなふるガイドツアー」

はなふるの7つのガーデンをボランティアガイドがたっぷり紹介！

- 開催日 : 6/28日(土)、6/29日(日)
- 開催時間: 実施時間: 10:00~15:00
- 所要時間: 30分~1時間程度
- 参加費 : 無料
- 受付方法: 当日受付
- 実施方法: ①受付型(受付場所にて受付、ガイドを行う)
②常駐型(各ガーデン前など来場者に声掛けし案内)
- 集合場所: はなふるセンターハウス前
- 参加人数: 28日19名(昨年比14名増)
29日12名(昨年比1名増)
- ガイド人数: 各時間あたり 3~5名程度



■「オープンガーデンバスツアー」

花のまち恵庭のオープンガーデンを市民花ガイド添乗のバスで巡る！
(事前申込み必要。先着順、定員に達し次第×切)

- 開催日 : 6/28日(土)、6/29日(日)
- 開催時間: 28日(土) 2便 10:15~12:15 13:30~15:30
※とことんコース(案内宅数の多いコース)
29日(日) 2便 10:00~12:00 13:00~15:00
※じっくりコース(案内宅は少ないが見学時間にゆとり)
- 集合場所: はなふるセンターハウス前(当日のバス乗降場所)
- 乗車定員: 28日/20名、29日/25名
- 参加人数: 6月28日 AM: 20名 / PM: 20名
29日 AM: 25名 / PM: 19名
- 参加料 : ¥1,500 - (当日受付時現金にて) ※昨年比500円値上げ
- 申込開始: 6月2日~ ※先着順 ※申込状況により当日受付可
- 受付方法 : Web予約・電話予約
(TEL: 0123-33-3131 恵庭市花と緑・観光課)



■「恵み野まちなかガイドツアー」

JR恵み野駅から花の拠点「はなふる」の間を歩きながらご案内！
「ボランティアガイドと歩いてめぐるガーデンツアー」

- コース: ①恵み野駅発→まちなかガーデン→個人宅エリア→はなふる
②はなふる→個人宅エリア→まちなかガーデン→恵み野駅
- 開催日 : 6/28(土)~6/29(日)
 - 開催時間: 恵み野駅発 9:30~
はなふる発 14:30~ ※各日2回の実施
 - 所要時間: 90分程度~3時間超
 - 参加費 : 500円 ※初有料化
 - 参加人数: 6月28日 AM: 7名 / PM: 2名
29日 AM: 3名 / PM: 0名
 - 集合場所: JR恵み野駅 東口ロータリー(9:15集合)
はなふるセンターハウス(14:15集合)
 - 申込開始: 6月2日~ ※先着順 ※申込状況により当日受付可
 - 受付方法: Web予約・電話受付(上記同)



花とくらし展では3種のツアーを実施。いずれも市民のガイドが同行するもの

オープンガーデンバスツアーでは恵庭市民花ガイドが花のまちの歴史や概要、オープンガーデン宅の特徴を説明
今回は参加者のニーズを踏まえて個人宅を数多く見せるコースと恵み野以外の個人宅を含む見学時間にゆとりあるコースの2つを設定して実施したところ、特徴をご理解いただき満足いただくことができた

歩いてめぐる恵み野まちなかツアーはJR恵み野駅から はなふるまで を市民ガイドが参加者を案内しながら2時間程度、商店街(ガーデンギャラリー)やオープンガーデンを散策し、はなふるがゴール(はなふるから恵み野駅のコースも) ツアーの楽しさ(ガイドの接遇含め)に所要時間が3時間を超えた回があったほど

2, 実績報告—花マップ作成・活用(含む【自転車でまちなかの花めぐり】) 恵庭観光協会(恵庭ガーデンツーリズム協議会構成員)

【2025恵庭遊マップ・恵み野花マップ】の制作(16,000部)

花のまち恵庭、オープンガーデンのまちを広く市内外にPRし、観光スポットや飲食店情報も併せることで花めぐりと市内周遊を促進するため一般社団法人恵庭観光協会が毎年制作する恵庭市唯一の観光マップ。

特に個人宅のオープンガーデンについては

- ①庭主の判断によって敷地内に入って鑑賞できる「オープンガーデン」マーク
 - ②歩道越し・堀越しの敷地外から鑑賞できる「きれいなお庭」マーク
- の2種類のマークをマップ上に記載。庭の規模や公開への負担感を考慮して庭主自身にマークを選択していただいている。
※個人宅ゆえ生活環境や事情が変わるため、掲載依頼及び内容更新を毎年行うもの

庭主へはもちろん、観光公害への危惧については制作当初より「ガーデンマナーと注意」をマップ上で表示し啓発に努め、2022年の全国都市緑化北海道フェア開催をきっかけに持続可能な花のまち文化の維持発展をねらいとして、より内容が明確に策定された「庭めぐりのルール」を明示することで庭主を護り、地域に配慮し、鑑賞客が気持ちよく鑑賞できるよう願いと意思を込めている。

オープンガーデンは恵み野地区だけでなく、市内一円で掲載募集を行い、恵み野だけでなく、市内全体に波及するようエリアの別なく掲載している。(オープンガーデン掲載軒数 恵み野地区:26軒、ほか市内:8軒)

2025マップは、恵み野商店会から推薦をいただいた飲食店を新たに加えて掲載件数増とともに「(営業)昼・夜」マークを付与してナイトタイムエコノミーも意識したマップ紙面づくりを行った



また、**オープンガーデンめぐりの交通手段として自転車を推奨**しており、恵庭観光協会独自のレンタサイクルに加え民間事業者のシェアサイクル(24時間利用可能で恵庭駅で借出し返却)の情報も掲載、「恵みの庭コース」として花の拠点のはなふる発着で恵み野地区の景観を楽しみながら休憩や飲食スポットも巡るコースを表示し、自転車利用の多くの方に参考にしていただき、自転車観光の定着と「暮らすように巡るまち」として滞在時間増、住民環境への負荷軽減の両立を目指している

花の拠点「はなふる」センターハウス内の恵庭観光案内所では、オープンガーデンめぐりの希望や相談を受けた際は必ず当マップを使用し、「庭めぐりのルール」をお伝えしたうえで交通手段や所要時間に応じたルートのご提案を行っているほか、恵庭花とくらし展期間中に行われた「恵み野まちなかツアー」や「オープンガーデンバスツアー」といった機会でも当マップが広く活用され、様々な理解や交流を促し、リピート及び市内経済に繋げることに寄与している。

当マップは、個人宅のオープンガーデンのほか、**本計画の構成庭園である①花の拠点はなふる、②恵み野商店会、③恵み野中央公園、④まちなかガーデン、⑤えこりん村、⑥サンガーデンを1枚のマップに収め**、花と暮らすまち恵庭でのバラエティ豊かな花めぐり観光の実用的なマップであると同時に他観光スポットを含む市内探訪へも誘う大切なツールである

3, 実績報告ー近隣ガーデン施設との周遊・ガーデナーファンづくり 恵庭観光協会(恵庭ガーデンツーリズム協議会構成員)

【2025ガーデンデザイナーと巡る恵庭「はなふる」～北広島「Fビレッジガーデン」ツアー】の実施

「はなふる」内 大きなカステラが焼けるお庭→



アレンジフラワーデモンストレーション→



Fビレッジガーデン→



募集定員30名のところ、21名の参加(恵庭市18名、千歳市・札幌市・岩見沢市 各1名)

ツアー募集当初はガーデンデザイナー2名のガイド設計であったが、体調の理由により1名での実施になるところを昨年に続き地元恵庭のプロガーデナー2名(土谷美紀氏-当協議会メンバー、森由佳氏)のサポートをいただいて無事催行実施することができた(当協議会代表の内倉真裕美氏も参加)

様々な施設のガーデン設計を手掛けてこられたデザイナーが「はなふる」のガーデンに込めた想いや工夫とは、北海道ボールパークFビレッジのガーデンの魅力、人の関係性も含め参加者にとっては目から鱗の情報を直接聞くことのできた機会としてはもちろん、デザイナーへの応援心と親近感、「はなふる」への一層の愛着と誇りに繋がるシビックプライドの醸成にも寄与することができた

柏倉さんによるフラワーアレンジの実演も間近で見れて最高だった

きめ細やかな説明と日頃の管理上のご苦勞に感謝の気持ちでいっぱい

柏倉さんをはじめ、サポートされたガーデナーさんのご案内説明も現場の声でとても実感のある話が聞けて満足

Fビレッジのガーデン設計をされた方が「はなふる」ないのガーデンと同じだったとは。身近に感じる

30℃以上の猛暑の中のツアーだったが、誘導や配慮のおかげで無事に楽しく参加できた

といった好評をほぼ参加者全員からいただくことができ、コンセプトに理解いただけたものと思料する

4, 実績報告ー市外事業者の花めぐり誘致

恵庭観光協会(恵庭ガーデンツーリズム協議会構成員)

【フェアフィールド・バイ・マリオット道の駅プロジェクト】

ガーデンシティ恵庭の魅力を満喫。「花の拠点はなふる」と「ゆにガーデン」を巡るイベント

昨年度の報告書にて〈今後の取り組み〉での“市外事業者の花めぐりツアー誘致とガイド案内等の関わり”として



【フェアフィールド・バイ・マリオット 道の駅プロジェクト】ガーデンシティ恵庭の魅力を満喫。「花の拠点はなふる」と「ゆにガーデン」を巡るイベントを10月10日開催!

～ ガーデナーと深まる秋を感じるガーデン鑑賞と体験 ～

恵庭バスホテルマネジメント株式会社 2025年9月9日 13時00分



写真イメージです

フェアフィールド・バイ・マリオット 道の駅プロジェクト (所在地: 大府市北区大庭中、最長運営責任者: 大橋茂) は、ガーデンを巡るイベントを2025年10月10日(金)に開催いたします。本企画はフェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわが「宿泊の方限定のイベント」です。

フェアフィールド・バイ・マリオット 道の駅プロジェクトでは、全国に宿泊特化型のホテルを20施設運営し、ホテルを拠点に「地域の知られざる魅力を探り歩く旅」のスタイルを提唱しています。本プロジ



昨年一般社団法人恵庭観光協会が企画実施した「秋のガーデンの魅力バスツアー」を参考として、はなふる内に立地するフェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわが、宿泊者向けショートツアーを企画し令和7年10月10日(金)に催行実施

恵庭観光協会はホテル担当者らとともにツアー内容検討、当日同行添乗

ホテルに隣接する「花の拠点はなふる」のガーデンエリアと由仁町の「ゆにガーデン」を巡り、北海道の秋ならではの彩り豊かな景観を楽しんでもらおうというもので、ガイドは「はなふる」内の「虹色の鳥」ガーデンを設計した土谷美紀氏(当協議会メンバー)と「はなふる」ヘッドガーデナーの森由佳氏が担当

「はなふる」では、朝の清々しい空気の中でチューリップの球根植え体験に続き、ガーデンの紅葉について紹介と散策、デザインの工夫やストーリーなどのガイドを受けて、「ゆにガーデン」へ

移動の車中では花のまち恵庭の歴史や特徴などの説明

「ゆにガーデン」では紫に紅葉した圧巻の規模のコキアやガーデンについて施設ガイドも加わって紹介を受ける

帰りは恵み野地区の銀杏並木や商店街の花壇ストリートを車窓から楽しんでいただいた

情報アップから参加募集までの期間が十分に確保できなかったことから一般の宿泊者の参加はなかった一方、フェアフィールドの日本本社の副社長はじめマーケティング担当など7名をお迎えし実施された

関係者の体験実証のような形となったが、かえって恵庭市のポテンシャルや展開の可能性について直接お伝えできた貴重な機会となった

5, 実績報告—視察・研修受け入れ対応

恵庭観光協会(恵庭ガーデンツーリズム協議会構成員)

【ちとせ環境と緑の財団「緑化リーダー育成研修会」の受け入れ

昨年度の報告書にて〈今後の取り組み〉での“視察・研修の受け入れ時における市民交流、観光・飲食機会のプログラム追加提案”として



先方より研修の受入打診時では、オープンガーデン見学と「はなふる」のガーデン管理やボランティアを活用した取り組みについてのレクチャーが要望されていたものを受け入れ体制を拡大し多くの関係者、両市民同士が交流を深めることのできるプログラムを追加したものを提案し実施したもの

令和7年7月11日(金)10:00~15:30

ちとせ環境と緑の財団主催「第2回緑化リーダー育成研修」

プログラム・恵み野オープンガーデン見学
・交流アトラクション(風景探し・クイズをチーム戦で)
・花の拠点「はなふる」ガーデンエリア散策・ガイド
・意見交換・交流会

参加人数 ちとせ環境と緑の財団 研修参加者等 13名
恵庭市フラワーマスター協議会 6名
内倉真裕美氏(恵み野エリアにて説明担当—当協議会代表)
土谷美紀氏(「はなふる」内企画担当—当協議会メンバー)
森由佳氏(「はなふる」内企画担当)
恵庭まちづくり協同組合 1名(「はなふる」内企画担当)
株ガーデンシティ恵庭 1名(「はなふる」指定管理者)
恵庭市経済部 花と緑・観光課 1名(当協議会メンバー)
恵庭観光協会 1名(当協議会メンバー)



令和7年度現在、恵庭市では花のまちづくりの維持発展に向けた中間支援機能の役割を果たす(仮称)恵庭市花と緑の文化センターの設立に向けた協議と準備を進めているところであり、並行して3つの試行事業(①花と緑に関する相談窓口、②花の拠点景観管理、③ガーデナー等研修)を開始している

当協議会のメンバーは、中間支援機能についての提言、花と緑の文化センター設立検討会から現在の設立準備会及び試行事業運営協議会にそれぞれの局面、立場から関わり、参画している

本件は、恵庭市及び当観光協会、ガーデナー個別に研修受け入れについての相談依頼を受けたものを一元化して、花と緑の文化センター「ガーデナー等研修事業」の一環として受入実現したもの

普段、市外の花団体関係者との交流の機会が少ないため参加者にとって有意義な時間となったこと

交流会では、ちとせ財団側の参加者が管理に携わる花壇のレイアウトや維持管理についての相談や活動の充実に向けた意見交換は参考になるものと感謝いただいた

地域間で課題や苦勞の共有理解が進み、花を通じた仲間意識や親近感が向上し、双方から本交流を契機として次年度以降も相互訪問や情報交換を継続したいとの意向から持続的なネットワークとしていきっかけの機会とすることができた

6, 全体を通しての効果や成果 次年度以降の取り組み

■効果や成果

平成初頭から広がった市民主導の花のまちづくりは、2022年の全国都市緑化北海道フェアをひとつの頂点とした

世代交代を見据え、「花のまち文化」を【つなげ・ひろげる】ため、「恵庭花とくらし展」を最重要事業と位置づけ、企画段階から関わり、市民・各種団体・恵庭市役所と連携して運営している

本事業を通じて「恵庭らしさ」を共有し、おもてなし意識の向上や市民ガイドの増加など、花のまちの主役は【人】であるという認識のもと、担い手となる市民の育成と自信醸成に着実な成果を上げている

花マップは、携帯性・俯瞰性・情報量のバランスに優れ、デジタルにはない利便性を持つ

紙媒体への根強いニーズにも応えつつ、「花のまち恵庭」、「ガーデニングのまち恵庭」を端的に伝える年次発行ツールとして広く活用されている

ツアーに関しては①北海道の花めぐり観光における恵庭拠点化・シビックプライド醸成を目的とした近隣への周遊型ツアー実施と②恵庭市内を拠点とした周遊型のツアー誘致の両面を行った

①②ともには本制度登録上の【探訪型】に該当しないものの、恵庭市のポテンシャルを活かしたエリア全体の魅力を広くPRとコアなファン層の掘り起こしに寄与し、昨年に続き大変有意義な取り組みとなった

一方で、市内周遊型ツアーは団体規模での適正な価格設定が難しく、コスト(の上昇含め)を吸収できない状況が続いている

今後は規模の見直しや企画・ターゲットの再設定が必要であるが、市場縮小のなかでは新たなファン開拓も不可欠である

ただし、予算制約により多様な展開が困難であることが課題となっている

今年度より試行が始まった中間支援機能を有する(仮称)花と緑の文化センターとの連携により、視察・研修の受入対応を実施した

これは、恵庭におけるガーデンツーリズムと「花のまち」の資源継承との両輪で進める重要性を踏まえたものであり、人と人との交流拡大にも手ごたえを得た

■今後の取り組み

2026年度も恵庭市民に向けた魅力発信を継続する

特に、「花とくらし展」の各種ツアーを未利用、または利用機会がない市民層に向け、参加人口の拡大と定着を図る仕組みづくりを進める(花のまち-シビックプライド-持続可能なものにするため)

- ・市外事業者の花めぐりツアー誘致とガイド連携の強化
- ・視察・研修の受け入れ時における市民交流や観光・飲食機会の提案強化
- ・市民花ガイド(オープンガーデンガイド)の観光ガイド化と人材発掘に向けた養成プログラムの策定
→ 2026年度は試行として、【はなふる~恵み野まち歩きツアー】を既存のガイド等を対象に実施予定

社会環境の変化に対応しつつ恵庭版・発のガーデンツーリズムの在り方を多角的に検討し、中間支援組織との連携なども通じて実践と検証を重ねていく

あわせて、当協議会の持続性確保のため、運営方針や組織の立ち位置を再確認し明確化を図っていききたい